



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月23日

上場会社名 新光製糖株式会社 上場取引所 J Q  
 コード番号 2113 URL <http://www.shinko-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 洋一 (TEL) 06 (6939) 1201  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務担当 (氏名) 砂岡 睦夫 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 ・  無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ・  無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,480	0.2	304	△2.9	415	1.3	278	2.3
22年3月期第1四半期	3,475	2.9	313	11.7	410	15.2	272	27.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	24	28	—	—
22年3月期第1四半期	23	72	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	13,549	12,088	87.8	1,036	15			
22年3月期	13,462	11,932	87.2	1,022	27			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 11,899百万円 22年3月期 11,740百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	10	00	10	00
23年3月期	—	—								
23年3月期(予想)			0	00	—	—	7	00	7	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有 ・  無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	6,950	8.7	490	△8.8	595	△8.7	380	△6.8	33	09
通期	13,300	4.1	730	△21.8	890	△22.5	560	△23.2	48	76

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有 ・  無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：有・無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更：有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	11,522,000株	22年3月期	11,522,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	37,625株	22年3月期	37,625株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	11,484,375株	22年3月期1Q	11,485,667株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益に一部回復の兆しが見られるものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、個人消費も低調に推移いたしました。精製糖業界におきましては、個人消費の減退の影響を受け、厳しい状況が続いております。

当第1四半期連結会計期間の海外粗糖市況は、ニューヨーク砂糖取引所現物相場1ポンド当たり期初19.97セントで始まり、21.88セントで当第1四半期連結会計期間を終了しました。国内砂糖市況(日本経済新聞掲載、大阪上白糖現物相場1キログラム当たり)は、期初183円で始まり、同レベルを維持して当第1四半期連結会計期間を終了しました。

当社グループの主な部門別の概要は、次のとおりであります。

精製糖・液糖部門は、個人消費の減退及び国内砂糖市況の先安感(大阪上白糖現物相場は、平成22年7月3日に1キログラム当たり6円値を下げ、177円となりました)等を背景に荷動きが鈍化し、販売数量は前年同期比減少しましたが、国内砂糖価格が前年同期比上昇したことより、売上高は2,919百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

氷砂糖部門では、青梅の生産が全国的に不作となり、市場への出回り数量が昨年比減少したことから、主要用途であります梅酒・梅シロップ用の需要が落ち込み、販売数量は前年同期比減、売上高は475百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

精製糖、液糖及び氷糖を除くその他の売上高は86百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の当社グループの売上高は3,480百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

利益面では、原料粗糖の適切な価格での調達、採算を重視した販売、及び製造コスト削減等に努めましたが、販売数量の減少による影響をカバーすることができず、営業利益は前年同期比2.9%減少し、304百万円となりました。経常利益は、国産甘しゃ(さとうきび)糖メーカーである持分法適用関連会社の持分加算が寄与し、前年同期比1.3%増の415百万円となり、当第1四半期純利益は前年同期比2.3%増の278百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、135億49百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が増加したことによるものです。負債合計は前連結会計年度末に比べて69百万円減少し、14億60百万円となりました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年4月23日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算を策定しており、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来のタックス・プランニングを利用する方法によっております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）を適用しております。

これに伴う損益に与える影響はありません。

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これに伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	468,081	246,227
売掛金	510,267	537,200
有価証券	—	146,057
商品及び製品	543,916	520,777
仕掛品	204,593	219,412
原材料及び貯蔵品	857,985	530,488
繰延税金資産	77,719	77,852
預け金	4,150,000	4,600,000
その他	31,710	22,239
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	6,843,274	6,899,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,942,781	1,942,189
減価償却累計額	△1,246,733	△1,233,197
建物及び構築物（純額）	696,047	708,991
機械装置及び運搬具	9,359,921	9,333,810
減価償却累計額	△7,872,652	△7,779,502
機械装置及び運搬具（純額）	1,487,269	1,554,308
土地	1,151,226	1,151,226
建設仮勘定	173,180	39,060
その他	287,879	283,935
減価償却累計額	△236,673	△232,123
その他（純額）	51,205	51,811
有形固定資産合計	3,558,929	3,505,396
無形固定資産		
ソフトウェア	144,668	146,577
ソフトウェア仮勘定	16,800	8,400
無形固定資産合計	161,468	154,977
投資その他の資産		
投資有価証券	2,816,951	2,732,306
繰延税金資産	136,898	137,100
その他	41,697	43,574
貸倒引当金	△10,157	△10,157
投資その他の資産合計	2,985,389	2,902,824
固定資産合計	6,705,787	6,563,198
資産合計	13,549,062	13,462,455

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	304,267	286,081
未払法人税等	144,555	313,937
未払金	414,496	382,105
役員賞与引当金	5,000	17,150
その他	302,712	230,362
流動負債合計	1,171,031	1,229,636
固定負債		
退職給付引当金	240,542	237,366
役員退職慰労引当金	45,008	58,196
その他	3,728	4,371
固定負債合計	289,279	299,934
負債合計	1,460,310	1,529,570
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,495,000	1,495,000
資本剰余金	942,783	942,783
利益剰余金	9,473,177	9,309,226
自己株式	△15,792	△15,792
株主資本合計	11,895,168	11,731,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,399	8,960
評価・換算差額等合計	4,399	8,960
少数株主持分	189,183	192,706
純資産合計	12,088,751	11,932,884
負債純資産合計	13,549,062	13,462,455

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,475,242	3,480,561
売上原価	2,701,671	2,728,806
売上総利益	773,570	751,755
販売費及び一般管理費	460,402	447,628
営業利益	313,168	304,126
営業外収益		
受取利息	8,670	7,457
受取配当金	7,647	4,203
持分法による投資利益	79,128	97,536
その他	1,679	3,317
営業外収益合計	97,126	112,515
営業外費用		
その他	122	1,156
営業外費用合計	122	1,156
経常利益	410,172	415,485
税金等調整前四半期純利益	410,172	415,485
法人税、住民税及び事業税	157,500	135,000
法人税等調整額	△20,771	3,504
法人税等合計	136,728	138,504
少数株主損益調整前四半期純利益	—	276,981
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,017	△1,813
四半期純利益	272,426	278,794



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	410,172	415,485
減価償却費	120,598	120,144
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,550	△12,150
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,017	3,176
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,778	△13,188
受取利息及び受取配当金	△16,318	△11,660
持分法による投資損益(△は益)	△79,128	△97,536
売上債権の増減額(△は増加)	△135,230	26,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	83,692	△335,816
仕入債務の増減額(△は減少)	△104,817	18,186
未払金の増減額(△は減少)	89,063	38,200
その他	38,373	65,817
小計	395,614	217,592
利息及び配当金の受取額	18,634	13,688
法人税等の支払額	△111,143	△307,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	303,106	△76,389
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	200,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△110,386	△185,722
無形固定資産の取得による支出	△154	△8,050
投資有価証券の売却による収入	—	5,200
預け金の純増減額(△は増加)	△350,000	450,000
その他	△4,949	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,489	361,587
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△85,465	△107,048
少数株主への配当金の支払額	△1,710	△1,710
その他	—	△643
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,176	△109,401
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,559	175,796
現金及び現金同等物の期首残高	350,722	292,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	301,162	468,081

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。